

# 三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

No	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村 3221	042-598-0880	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩15分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市 920-1	042-596-4069	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽 741	042-558-2561	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ② 東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市子ども科学館)	〒192-0062 八王子市大横町 9-13	042-624-3311	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町 33	042-622-8939	① JR 中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ② JR 中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分
9	集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構 技術研究所）	〒192-0032 東京都八王子市石川町 2683-3	042-644-3751	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川 850-1	042-530-1120	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑 1962	042-568-0634	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩18分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町 5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス総合体育館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町 3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保 550	042-592-0981	① 多摩都市モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ② モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京 91 年館	〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋 1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社」下車 徒歩2分
17	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町 1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
18	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13	042-396-2909	西武池袋線 清瀬駅南口から西武バス 久米川駅行き・所沢駅行きで約10分（「ハンセン病資料館」で下車）
19	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保 6231	042-576-0211	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩8分
20	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中 1-9-52	042-574-1360	JR 中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合 2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
23	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田 3562	042-726-1531	小田急線・JR 横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
24	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町 6-32	042-368-7921	京王線・JR 南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
25	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町 3-2-37	042-383-1198	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車 徒歩5分
26	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町 3-7-1	042-388-3300	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からバス5分「小金井公園西口」下車徒歩5分
27	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
28	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸 2-6-41	042-493-8585	① 西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ② 駅北口バスターミナル1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
29	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64	042-469-6100	① 西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ② 西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
30	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
31	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1	0422-34-3600	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車
32	むいから民家園	〒201-0013 狛江市元和泉 2-15-5	03-3489-8981	① 小田急線狛江駅より徒歩10分 ② 狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」（北回り）で「児童公園」バス停前

三多摩公立博物館協議会

催し物案内2014年度春・夏号

2014年4月～2014年9月

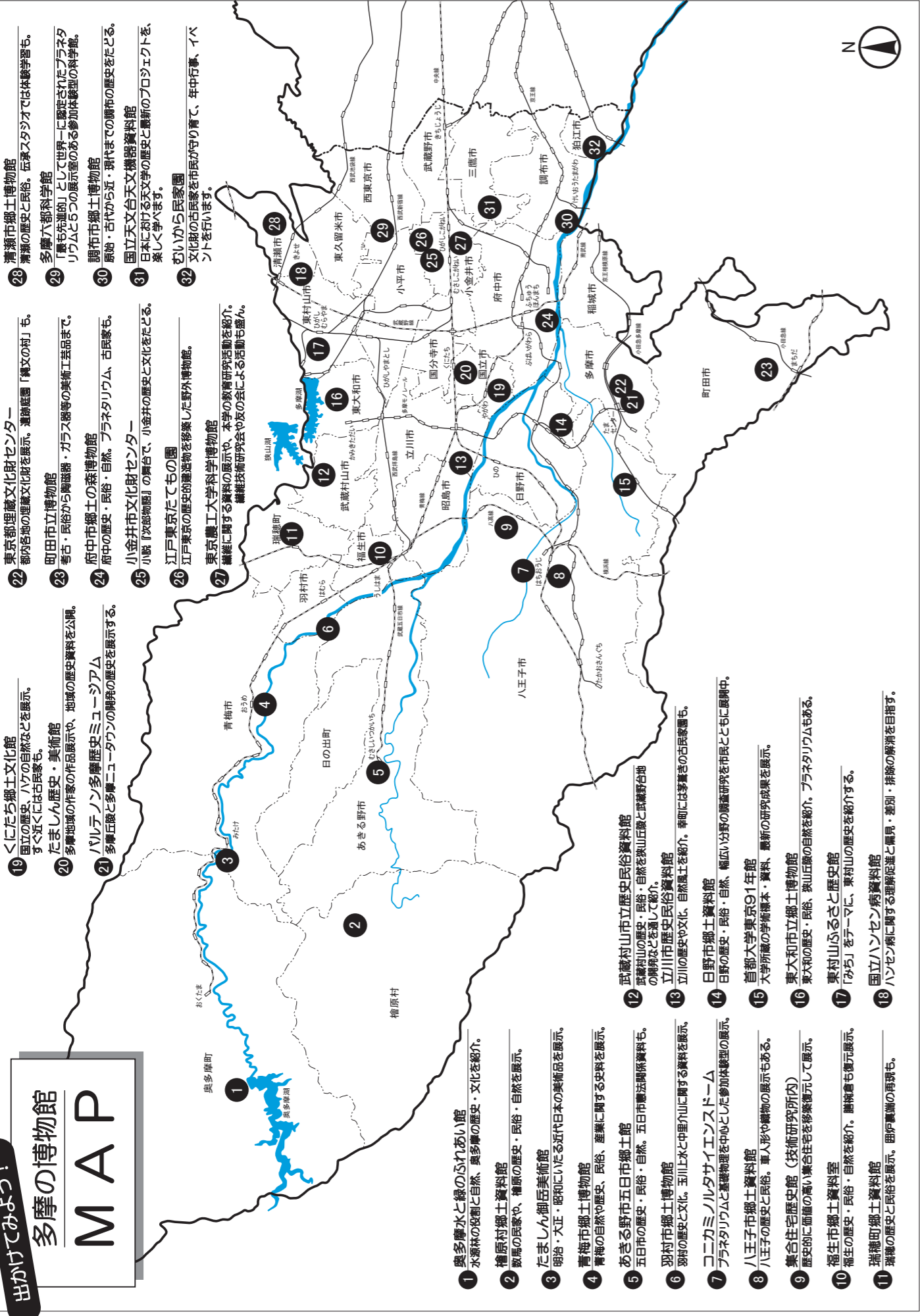
## 多摩の博物館さんぽ



「博物館さんぽ」をおともに、個性豊かな多摩の博物館へお出かけください。

また、東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、最新情報を公開しています。ぜひこちらもチェックしてください！

出かけてみよう！  
多摩の博物館  
MAP



- 1 奥多摩水と緑のふれあい館  
水環境の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。
- 2 榎原村郷土資料館  
群馬の歴史や、榎原の歴史・民俗・自然を展示。
- 3 たましん御岳美術館  
明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。
- 4 青梅市郷土博物館  
青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する史料を展示。
- 5 あさる野市五日市郷土館  
五日市の歴史・民俗・自然、五日市郷土資料館関係資料も。
- 6 羽村市郷土博物館  
羽村の歴史と文化、玉川上水と中里川に関する資料を展示。
- 7 コニカミナルタサイエンスドーム  
プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。
- 8 八王子市郷土資料館  
八王子の歴史と民俗、軍人形や機物の展示もある。
- 9 集合住宅歴史館（技術研究所内）  
歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。
- 10 福生市郷土資料館  
福生の歴史・民俗・自然を紹介。調練倉も復元展示。
- 11 瑞穂町郷土資料館  
瑞穂の歴史と民俗を展示。田代遺跡の再現も。
- 12 武蔵村山市歴史民俗資料館  
武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の連続などを通して紹介。
- 13 立川市歴史民俗資料館  
立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家も。
- 14 日野市郷土資料館  
日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究を市民とともに展開中。
- 15 首都大学東京91年館  
大学所蔵の学術書・資料、最新の研究成果を展示。
- 16 東大和市立郷土博物館  
東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。
- 17 東村山ふるさと歴史館  
「みら」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。
- 18 国立ハンセン病資料館  
ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排縁の解消を目指す。
- 19 くにたち郷土文化館  
国立の歴史、ハクノ自然などを展示。すぐ近くには古民家も。
- 20 たましん歴史・美術館  
多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。
- 21 パルテノン多摩歴史ミュージアム  
多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。
- 22 東京都埋蔵文化財センター  
都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡地図「縄文の町」も。
- 23 即田市立博物館  
考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術・工芸品まで。
- 24 府中市郷土の森博物館  
府中の歴史・民俗・自然、プラネタリウム、古民家も。
- 25 小金井市文化財センター  
小泉「次郎物語」の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。
- 26 江戸東京たてもの園  
江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。
- 27 東京農工大学科学博物館  
継続に開く資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。継続技術研究会や友の会による活動も盛ん。
- 28 清瀬市郷土博物館  
清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。
- 29 多摩六都科学館  
「最も先進的」として世界に認定されたプラネタリウムと5つの展示室のある参加体験型の科学館。
- 30 調布市郷土博物館  
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。
- 31 国立天文台天文機器資料館  
日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。
- 32 むいから民家園  
文化財の古民家を市民が守り育て、年中行事、イベントを行ないます。

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

**28 清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)**  
清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------------	-----	----

- 茶つみ・茶もみ (5.18)  
お茶の葉をつみ、ホイロでお茶作りをする体験ができます。
- 小麦の棒打ち (7.6)  
かつて清瀬における主要な生産物であった小麦の脱穀作業を実演します。千歯扱き・足踏み脱穀機・くり棒・唐箕など昔の農具を使用する体験や、昔の農家の代表的なおやつであるゆでまんじゅうの試食もあります。
- 体験はたおり (7月下旬～8月)  
昔ながらの機を使用し、「さきおり」を織る体験ができます。

【URL】 <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

**29 多摩六都科学館 (042-469-6100)**  
「最も先進的」として世界に認定されたプラネタリウムと5つの展示室のある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日（祝休日の場合は開館し翌日）、祝日の翌日、年末年始(12.28～1.3)、保守点検等の臨時休館日(4.8～11.5.7～9.9.1～4.10.6～9)	入館料	大人500円、小人200円(4歳～高校生) プラネタリウム、大型映像は別料金
------	------------------------	-----	--	-----	---

- 春の特別企画展「くらしの中の20のしくみ展」(3.15～4.13)
- ゴールデンウィーク特別イベント「ロクトロボットパーク2014」(4.26～5.6)
- 全編生解説プラネタリウム(毎日投影)「現在火星接近中！火星に生命を探せ」(4.12～6.1)
- 大型映像「地球ミュージアム」(上映中～7.18)
- キッズプラネタリウム 今夜の星空のお話と「ペガロク タマゴ星をすくえ！」(土・日・祝日と春・夏休み中に投影)
- 夏の特別企画展 (7.19～8.31)

【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

**30 調布市郷土博物館 (042-481-7656)**  
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------------	-----	----

- 収蔵品展「多摩川の流れて～川魚漁・川舟～」(4.13～6.29)  
川魚漁に関する道具や船を中心に、多摩川の流れて添ったかつての暮らしを紹介します。
- 企画展「ちょうふ・これくしょん」(仮) (7.27～9.7)  
調布で行われたさまざまなイベントの際などにつくられた「グッズ」を紹介し、調布らしさとは何かについて考えます。

【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

**31 国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3600)**  
日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。

開館時間	10:00～17:00	休館日	年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料
------	-------------	-----	-----------------	-----	----

【URL】 <http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/>

**32 むいから民家園 (03-3489-8981)**  
文化財の古民家を市民が守り育て、年中行事、イベントを行ないます。

開館時間	9:30～16:30 (7・8月は9:30～18:00)	休館日	水・木曜日	入館料	無料
------	---------------------------------	-----	-------	-----	----

- 狛江ふれあい移動動物園 (4.19)  
牛や馬、鶏等家畜と共生していた昔の農家の暮らしに思いをはせ、接する機会の少ない動物たちとふれあい、楽しむ企画。
- 「かまどでご飯」（こども行事）(7月上旬、要予約)  
土間にある「かまど」で薪を燃やしてご飯を炊きます。そのご飯をおにぎりにしてみんなで食べます。
- 「生葉藍染め講習会」(7月下旬、要予約)  
むいから民家園で育てた藍を使って、スカーフを染める体験ができます。

【URL】 <http://www.ab.auone-net.jp/~muikaral/>



24	<b>府中市郷土の森博物館（042-368-7921）</b>				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3、その他臨時休館日	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示室は、リニューアル工事のため、4.1から10.3まで休室いたします。これに伴い、プラネタリウムの投影は、4.28から5.2を除く4.1から9.19までの間、土・日・祝日のみとなります。</li> <li>●リニューアルリレー展「府中タイムトラベル」（4.8～9.21） リニューアルのため常設展示室が休室となることに伴い、特別展示室で府中の歴史・民俗・自然の展示を行います。</li> <li>●ボランティアによる歳時記展「五月人形」（4.19～5.15） 五月の節句にあわせ、園内の復元建築物で五月人形を展示します。</li> <li>●「郷土の森あじさいまつり」（5.31～6.29）</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a>					

25	<b>小金井市文化財センター（042-383-1198）</b>				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。</li> <li>●季節展「絵はがきに見る東京の桜・小金井の桜」（3.29～5.6）</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://tamahaku.jp/kojin/">http://tamahaku.jp/kojin/</a>					

26	<b>江戸東京たてもの園（042-388-3300）</b>				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:00～17:30（入園は17:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	大人400円、中（都外）高生200円 大学生320円、65才以上の方200円 小中（都内）無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展「憧れのモダン住宅 一建築家 土浦亀城・信子夫妻の提案」（3.15～5.18）</li> <li>●こどもの日イベント（5.4・5）、小暑のつどい（7.5・6）、夜間特別開園下町夕涼み（8.2・3）、伝統工芸の実演（4.12・13、5.10・11、6.14・15、7.12・13、8.9・10、9.13・14）</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.tatemonoen.jp/">http://www.tatemonoen.jp/</a>					

27	<b>東京農工大学科学博物館（042-388-7163）</b>				
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日 （創立記念日）等	入館料	常設展無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「衣料から医療へ～シルクで創る人工血管～」（2.11～4.26）</li> <li>●ミニ企画展「農機具コレクション」（3月～6月）</li> <li>●ミニ企画展「獣医学科コレクション」（5月～6月）</li> <li>●企画展「川島浩 写真展」（5月～7月）</li> <li>●企画展「東京農工大学福島農業復興支援プロジェクト」（8月～9月）</li> <li>●子供科学教室（4.20、5.17、6.7、7.12、8.2、9.13）</li> <li>●繊維技術研究会講演会（毎月第3火曜日）</li> <li>●友の会サークル講習会（日程未定）※日程の詳細は、当館ホームページにてお知らせいたします</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.tuat.ac.jp/~museum/">http://www.tuat.ac.jp/~museum/</a>					

1	<b>奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）</b>				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●奥多摩の豊かな自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介している。</li> <li>●春の奥多摩ミニコンサート（4.19・4.20）午前、午後の2回公演 2日間延べ4回 ソプラノ・ギター・ハーブによる共演、出演：ソプラノ歌手 他</li> <li>●水道週間（6.1～6.7）記念品の配布 等</li> <li>●ダム写真展（8.1～8.31）「奥多摩湖周辺の四季」等の写真展示</li> <li>●夏のフラダンスショー（8.16）午前、午後の2回公演、フラダンスの音楽と公演</li> <li>●水源郷土芸能公演（9.14）11:00頃～14:30頃、小河内の郷土芸能（獅子舞、鹿島踊り）</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a>					

2	<b>檜原村郷土資料館（042-598-0880）</b>				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●当館では「自然と観光」「歴史と民族」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが展示されております。又、自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」の鑑賞が常時可能となっております。</li> <li>●常設展「自然と観光」「歴史と民族」</li> <li>●特別展「夏休み昆虫標本展」(7.19～8.31)主に檜原村内で採集された昆虫の標本448点を夏休み期間中展示する。</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryokan/siryokan.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryokan/siryokan.html</a>					

3	<b>たましん御岳美術館（0428-78-8814）</b>				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 （11月～3月は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●近代美術の流れー明治の絵画ー（3.1～9.28） 常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」、第1展示室 たましんコレクションより 倉田三郎記念室 倉田三郎 旅の素描ースペインを描くー、ギャラリートーク（5.3、8.16）14:00～</li> <li>●スケッチの日 ①桜の日（4.10～12）②倉田三郎生誕記念日（8.21～23） 当日ご来館の方には、記念品をプレゼント！</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.tamashin.or.jp/mitake.html">http://www.tamashin.or.jp/mitake.html</a>					

4	<b>青梅市郷土博物館（0428-23-6859）</b>				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「青梅の教育」（4.12～8.3 予定） 青梅市の教育について関連する資料を展示し、ご紹介します。</li> <li>●新収蔵品展2014（仮）（8.16～9.21 予定） 2013年度に当館へご寄贈いただいた資料を展示します。</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html">http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</a>					

5	<b>あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）</b>				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 （水曜日が祝日の場合は翌日も） 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然、化石などの展示のほか、五日市市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した荻原タケの功績を紹介しています。</li> <li>●企画展示「(仮称)あきる野市の野鳥」（4月上旬予定） 春から夏にかけて、あきる野市で観察できる野鳥をパネルで展示します。</li> </ul>					
【URL】 <a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&amp;frmlid=1285&amp;frmCd=3-4-4-0-0">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&amp;frmlid=1285&amp;frmCd=3-4-4-0-0</a>					

6	<b>羽村市郷土博物館（042-558-2561）</b>				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～18:00（4月～9月） 9:00～17:00（10月～3月）	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「はむらの思い出～今昔写真展～」(3.29～6.29) 産業・文化・名所などの写真から、はむらの思い出をたどります。</li> <li>●季節展示「五月人形展」(4.19～5.11) 季節に合わせて、鯉のぼりと五月人形かざりを展示します。</li> <li>●季節展示「七夕かざり」(6.28～7.8) 季節に合わせて、七夕かざりを展示します。</li> <li>●企画展「養蚕ってなあに？～カイコの大変身！～（仮）」(8.2～9.15) 養蚕の一連の作業工程の流れを展示し、カイコから絹製品ができるまでを紹介し。</li> <li>●季節展示「お月見かざり」(9.9～9.15) 十五夜に合わせて、お月見かざりを展示します。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></p>					

7	<b>コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館）（042-624-3311）</b>				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00 (ただし火～金曜9:00～12:00 は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など（夏休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円 (プラネタリウム料金別)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラネタリウム上映番組 「ドラえもん宇宙ふしぎ大探検2」、「銀河鉄道の夜」、「キッズプラネタリウム」など上映中。「今夜の星空解説」もあります。「講演会」「星空コンサート」、「星空観望会」なども開催。詳細はお問い合わせください。</li> <li>●科学工作教室、科学実験ショー、かんたん工作室など（土・休日開催）</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/</a></p>					

8	<b>八王子市郷土資料館（042-622-8939）</b>				
	八王子の歴史と民俗。車人形や織物の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●コーナー展「新収蔵コーナー展」(4.12～3.29) 昨年度に市民から寄贈された資料を展示します。</li> <li>●コーナー展「八王子市の発掘成果展」(6.7～7.9)</li> <li>●コーナー展「戦時下の生活～ぜいたくは敵だ～」(7.12～8.31)</li> <li>●企画展「土偶」(7.29～9.28)</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</a></p>					

9	<b>集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構 技術研究所）（042-644-3751）</b>				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始 (2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本住宅公団昭和30年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。関東大震災復興のため建設された同潤会アパートは今年の夏の上野下アパート解体によりすべて姿を消してしまいました。集合住宅歴史館では「同潤会代官山アパート」と昭和30年代に建設された「公団住宅」を移築・復元し公開していますので、集合住宅の歴史を実物を見て・聞いて・学ぶことができる施設です。また同じ敷地にある研究施設とあわせてご覧いただくと集合住宅のことをより深く理解いただけます。</li> </ul> <p>※事前予約制 予め電話・ホームページで申込みください。 【URL】 <a href="http://www.ur-net.go.jp/rd/">http://www.ur-net.go.jp/rd/</a></p>					

10	<b>福生市郷土資料室（042-530-1120）</b>				
	福生の歴史・民俗・自然を紹介。膳枕倉も復元展示。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日 (祝日の場合は翌日休館)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展示「中西悟堂と西多摩」(4.19～6.22) 日本野鳥の会を設立した中西悟堂没後30年にあたり、中西悟堂と福生や西多摩地域とのかかわりについて紹介し。</li> <li>●企画展示「平和のための戦争資料展」(6.28～8.31) 毎年終戦の日に合わせて、福生に残された戦争関係資料から、平和について再認識することを目的とした展示を行います。</li> <li>●企画展示「青梅鉄道開通120年記念 収蔵鉄道資料展・鉄道写真展（仮）」(9.6～11.24) 青梅鉄道開通120年を記念して、福生市郷土資料室で所蔵する鉄道関係資料や鉄道関連写真をまとめて紹介し。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.museum.fussa.tokyo.jp">http://www.museum.fussa.tokyo.jp</a></p>					

20	<b>たましん歴史・美術館（042-574-1360）</b>				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>たましんギャラリー開廊40周年記念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多摩の作家展Ⅰ (4.8～5.18) ギャラリートーク (4.25)14:00～</li> <li>●多摩の作家展Ⅱ (6.3～7.13) ギャラリートーク (6.20)14:00～</li> <li>●多摩の作家展Ⅲ (7.29～8.31) ギャラリートーク (8.29)14:00～</li> <li>●多摩の作家展Ⅳ (9.16～10.19) ギャラリートーク (10.10)14:00～</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.tamashin.or.jp/">http://www.tamashin.or.jp/</a></p>					

21	<b>パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）</b>				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(4.15・16、5.20・21、 6.10・11、7.8～10、8.5～7、 9.9・10)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「調布玉川惣画図の旅～多摩川を見つめる～」(第Ⅰ期：～4.21 第Ⅱ期：4.23～7.7) 相沢伴主・長谷川雪堤による絵巻・調布玉川惣画図について、背景や内容を詳しく見る。第Ⅰ期には、市民や小中学校の地域を見つめる活動成果も紹介。</li> <li>●地域文化講座「調布玉川惣画図を考える」(4.20)</li> <li>●宮内公文書館共催展示「みゆきのあと－明治天皇と多摩－」(4.26～4.29) さまざまな資料から、明治天皇の行幸・御猟場と地域との関わりについて紹介。</li> <li>●関連講演会「宮内省と地域の資料にみる明治天皇と多摩」(6.21、29)</li> <li>●企画展「多摩の湧水が育む命（仮）」(7.11～11.17) 多摩丘陵の湧水にくらす生物を紹介。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.parthenon.or.jp/museum/">http://www.parthenon.or.jp/museum/</a> 【ツイッター】 <a href="http://twitter.com/par_tama_museum">http://twitter.com/par_tama_museum</a> 【Facebook】 <a href="https://www.facebook.com/25thparthenon">https://www.facebook.com/25thparthenon</a></p>					

22	<b>東京都埋蔵文化財センター（042-373-5296）</b>				
	都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡公園「縄文の村」を併設。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●縄文ワクワク体験まつり (5.3・4)</li> <li>●縄文土器作り教室① (5.17・18、6.7)</li> <li>●第1回文化財講演会 (6.14)</li> <li>●勾玉作り教室① (6.28)</li> <li>●トンボ玉作り教室 (①5.12、②9.20)</li> <li>●親子縄文土器作り教室 (②7.19、③7.20、8.9)</li> <li>●夏休み親子体験教室 (①8.14、②8.15、③8.22) ①勾玉作り＋火おこし道具作り、②土偶作り＋古代布作り、 ③縄文アクセサリー作り＋火おこし道具作り</li> <li>●古代布作り教室②・③ (8.30)</li> <li>●縄文土器作り教室④ (9.6・7、27)</li> <li>●第2回文化財講演会 (9.13)</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.tef.or.jp/maibun/">http://www.tef.or.jp/maibun/</a></p>					

23	<b>町田市立博物館（042-726-1531）</b>				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合翌日休館）、 展示替期間、資料整理期間、館 内整理期間、年末年始	入館料	企画により異なりますのでお問合せ 下さい ※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「岩田藤七・久利・糸子：スケッチブックとガラス作品」(3.1～3.30、4.1～5.6) 岩田藤七・久利・糸子のスケッチ、ガラス作品、藤七の貝殻コレクション等の資料を通して、芸術家が日々関心を持ち吸収したことがら、どのように熟成し作品として昇華していくのかを探ります。</li> <li>●「古武雄－江戸のモダニズム（仮）」(7.8～8.31) 江戸時代前期（17世紀前半）から19世紀にかけて佐賀県西部、唐津系諸窯の一つである武雄窯で誕生した古武雄の大作65点によって、江戸初期の斬新なデザイン性を紹介する。</li> <li>●「江戸の衣装競べ－国立歴史民俗博物館・野村コレクション－（仮）」(9.13～10.5、10.11～11.3) 近世から近代初頭の女性衣装、小袖屏風、打敷、裂類、装身具等からなる国立歴史民俗博物館野村コレクションのうち、おもに女性の衣装や装身具を身分・時代毎に分けて展示をし、武家・町人・公家女性の装いにおける美意識の違いや変遷を追う。</li> </ul> <p>【URL】 <a href="http://www.city.machida.tokyo.jp/">http://www.city.machida.tokyo.jp/</a></p>					



11	<b>瑞穂町郷土資料館（042-568-0634）</b>				
	瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日、毎月16日 (月曜日・祝日の場合は翌日、土・日曜日の場合は開館) 祝日	入館料	無料
●休館のお知らせ 移転に伴い、4.7から11月中旬まで休館させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。なお、休館中も埋蔵文化財包蔵地照会・刊行物販売・電話対応等は通常通り行います。 【URL】 <a href="http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo.html">http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo.html</a>					

12	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）</b>				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（第3水曜日が祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料
●年中行事展「端午の節供」（4.19～5.11） ●年中行事展「七夕飾り」（6.28～7.6） ●平成26年度は、資料館の改修工事に伴う臨時休館を予定しております。展示会・催し物の開催情報の詳細については、資料館ホームページ、市報等をご確認ください。 【URL】 <a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html</a>					

13	<b>立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）</b>				
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）	入館料	無料
●原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。 ●企画展「新収蔵品展」（3.15～4.20）平成25年度に寄贈された資料の一部を展示します。 ●ミニ展示「端午の節句展」（4.8～5.6）市内幸町の古民家園でも展示します。 ●ミニ展示「七夕飾り」（6.28～7.6）季節に合わせた、七夕飾りを展示します。 ●企画展「立川の遺跡2014」（7.29～8.31）昨年度出土した資料などを紹介します。 【URL】 <a href="http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154">http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154</a>					

14	<b>日野市郷土資料館（042-592-0981）</b>				
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料
●企画展「どっき土器！掘り出された昔の暮らし」（4月上旬～7月中旬） ●企画展「エコな暮らし再発見～ちょっと昔の道具たち」（7月末～9月下旬） ●稲生物怪録絵巻パネル展（7月上旬～8月末） ●日野の生き物写真展（7月下旬～8月末） ●出張展示「高幡の記憶～写真で見る高幡の今昔」（4.5～4.24） 会場：市役所1階ロビー ●出張展示「多摩平写真日記～1960年代から80年代の日野の風景～」(7.29～8.3) 会場：日野市民会館（煉瓦ホール）2階展示室 ●勝五郎調査団公開講演会「江戸時代の『あの世』」(5.18) 14:00～16:00 会場：郷土資料館、講師：青山英正氏（明星大学准教授）、定員：30名（先着順）電話で資料館へ申し込み 【URL】 <a href="http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/">http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/</a>					

15	<b>首都大学東京 91 年館（042-677-1111・内線 2041）</b>				
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか (臨時休館あり)	入館料	無料
●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。 ●その他の企画・講演会 ウェブサイト等でお知らせします。 【URL】 <a href="http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html">http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html</a>					

16	<b>東大和市立郷土博物館（042-567-4800）</b>				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料（プラネタリウムは有料）
●企画展示「遊びの民具」（～6.8）子どもの遊びについて収蔵資料を中心に展示 ●企画展示「プラネタリウム今昔」（～5.25）プラネタリウムで使っていた投影機の変遷を紹介 ●ロビー展「ぼく・わたしの平和宣言」（～4.24）小学生が戦災建造物で学習し、まとめた未来への提言を展示 ●ロビー展「狭山丘陵で学んだよ」（～5.6）小学生の自然観察の成果を展示 ●旧日立航空機立川工場変電所特別公開（4.26・27） ●東大和郷土美術園特別公開（仮）(5.24・25) ●企画展示「大和町制60年記念～大和村、大和町そして東大和市へ」（7.19～9.7） 町制が施行されて60年を記念して、東大和の変遷について展示 ●プラネタリウム投影 / 春番組「アースシンフォニー」（～6.8） / 夏番組（6.14～9.7） / 七夕特別投影（7.5・6） ●その他各種講座を随時開催 【URL】 <a href="http://www.city.higashiyamato.lg.jp">http://www.city.higashiyamato.lg.jp</a>					

17	<b>東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）</b>				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料
●収蔵品展「節供人形—ひな・むしゃ・こい 人形たちが大集合—」(4.26～6.29) これまで寄贈いただいた館蔵の雛人形や五月人形、鯉のぼり等を一堂に集め、総合収蔵展示を行ないます。節供人形たちの競演をお楽しみください。 ●市制50周年記念企画展「東村山市誕生—13町をめぐる」(仮) (7.12～8.31) 2014年は東村山が市になって50周年の記念の年です。これに因み、市になってからできた13の町に光を当て展示を行ないます。 【URL】 <a href="http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/">http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/</a> ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 / 042-390-2161 開館時間、休館日、入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 <a href="http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/">http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</a>					

18	<b>国立ハンセン病資料館（042-396-2909）</b>				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30(入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
●特別企画展「林志明作品展 - 中国ハンセン病回復者の書画作家 -」(4.5～5.11) 中国の回復者・林志明（リン チミン）さんの中国画や書作品を紹介します ●講演会「私と書画活動」(4.5) 林志明さんがご自身の人生と書画活動について語ります。(逐次通訳) ●春季企画展「不自由者棟の暮らし - ハンセン病療養所の現在 -」(4.26～7.27) 高齢化した入所者が介護や看護を受けながら暮らす不自由者棟について紹介します 【URL】 <a href="http://www.hansen-dis.jp">http://www.hansen-dis.jp</a>					

19	<b>くにたち郷土文化館（042-576-0211）</b>				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料
●写真展「くにたち あの日、あの頃—まちなのにぎわい—」(4.26～6.1) ●共催企画展「第20回 紙の工芸展」(8.30～9.23) 紙を素材とした様々な作品を展示します。実際に作品を作る「体験教室」も実施します。 ●わら細工教室 わらぞうり作り(8月頃を予定) 「くにたちの暮らしを記録する会」の指導で、素敵な草履を作る体験教室です。 ●五月人形・鯉のぼり飾り(4.17～5.13) 国立市古民家及び郷土館にて開催いたします。 【URL】 <a href="http://www.kuzaidan.com/province/index.html">http://www.kuzaidan.com/province/index.html</a>					